令和５年度　年間学習指導計画案

科目	看護臨地実習	単位数	２単位 （１、３学期）	学年・学科・コース	１年・衛生看護科
使用教科書	なし			副教材等	なし

１．学習の到達目標と評価の観点

学習の到達目標	看護の見方・考え方を働かせ、施設実習を行うことを通して、基礎的な看護技術の実践に必要な資質・能力を次の通り育成することを目指す。 ・施設における看護技術の基礎を身に付ける。 ・施設における基礎看護の課題を発見する力を養う。 ・施設における基礎看護について自ら学び、よりよい看護を目指して主体的に取り組む態度を養う。

評価の観点		
ａ．知識・技能	**ｂ．思考・判断・表現**	**ｃ．主体的に学習に取り組む態度**
施設の概要と高齢者に適した環境を理解し、高齢者との接し方について実践を通して学ぶことができる。	施設指導者の指導のもとに高齢者の日常生活の援助方法と根拠を明確にしようとする力を身に付けている。	社会の中の一員として、高齢者に対し尊重した態度で接することができる。

２．学習計画及び評価規準、評価方法

月	学習項目	学習内容（ねらい）	評価の観点			評価規準	評価方法
			ａ	ｂ	ｃ		
7	基礎看護臨地実習	・保健医療福祉施設の機能と看護の役割 ・対象の理解 ・看護におけるコミュニケーション	○			・施設の概要と構造・施設利用者の日課を理解し、施設利用者と積極的にコミュニケーションを図ることができる。	参加態度 実習日誌 提出物 自己評価 技術到達度 指導者評価
				○		・施設利用者に対する日常生活の援助方法の見学と実践を通して、高齢者のニーズに気づくことができる。	
					○	・服装・身だしなみなどが実習に適しており、言葉遣いなど施設利用者・施設関係者を尊重した態度で接することができる。	
１２	基礎看護臨地実習	・保健医療福祉施設の機能と看護の役割 ・対象の理解 ・看護におけるコミュニケーション ・日常生活の援助	○			・環境面における施設利用者の個別性に応じた安全・安楽への配慮を理解できる。	参加態度 実習日誌 提出物 自己評価 技術到達度 指導者評価
				○		・日常生活の援助についてわかりやすく説明し、納得を得て援助することができる。	
					○	・服装・身だしなみなどが実習に適しており、言葉遣いなど施設利用者・施設関係者を尊重した態度で接することができる。	